

廊下でにらみ合い

チツソ 本社 座り込み患者と社員

水俣病新認定患者・家族とチツソの交渉は九日、チツソが交渉に応じなかったため進展をみなかった。

この日、患者側は交渉断行を要

求し続け、患者を支援している東

結けた。

京、熊本などの学生を主とした水俣病を告発する会員約百人も八日同様、すわり込みを行ない、チツソ本社の約半分を実質的に封鎖し

これに対しチツソも五井工場な

廊下にすわり込んだ。患者側代表の川本輝夫さん(四七)は、このチツ

どから約二百人の従業員を動員して実力排除の構えを見せつつ午後三時に、告発する会員と組織して、

ソ側のすわり込み陣に「あなた方は何をしようとしているのか。生

生活はどうしてくれるのか。水俣病がどんなものか知っているのか」と呼びかけた。チツソ側は父ンマリで対抗、にらみ合いは二時間ほど続き、午後五時、チツソ側は告発する会に「学生帰れ」と叫んで、引き揚げていった。